

「簿記」 学習指導案

実習生：

(実習教諭)

1. 日時 令和3年11月10日(水)1時限目

2. 場所

3. 単元名 手形の書き換え 不渡手形 (第27章 1, 3)

4. 使用教材 『新簿記』(実教出版)
『最新段階式 簿記検定問題集 全商2級』(実教出版)

5. 単元目標

- ・手形の書き換え、手形の不渡りに関する取引の仕組みを理解できるようになる。
- ・手形の書き換え、手形の不渡りに関する仕訳を適切に行えるようにする。

6. 生徒観

本学級は比較的におとなしい生徒の多いクラスではあるが、こちらからの発問に反応してくれる生徒もおり、問題演習等においては生徒同士で教えあい理解を深めることができる学級である。学力に対しての開きはあるものの、グループワークを実施した際には班員と積極的にコミュニケーションを取る様子もうかがえる。しかし、簿記に対して苦手意識を持っている生徒もおり、そういった生徒に対して授業内容が理解できているかを確認しながら授業を進める必要があると考える。

7. 教材観

本教材は、特殊な手形の取引について、どういった意味をもつ手形なのかについて生徒が理解し適切な会計処理を行う能力を身に着けることができる教材であると考え。また、問題集では検定を意識した問題にも取り組むことができ、生徒に対して検定合格のための意識を持たせることができると考える。

8. 単元の評価基準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
特殊な手形の取引があることを認識し、関心をもつ。 また適切な会計処理を行うことをめざして会計処理を行う実践的な態度を身に着けている。	適切な会計処理を行うことをめざして思考を深め、基本的な知識を身に着けたうえで、実社会のどの場面で使用されるのかについて判断できる。	特殊な手形の取引に関する基礎・基本となる知識を身につけ、適正な会計処理を行うことを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	特殊な手形の取引について、基本的な仕組み、会計処理について理解している。

9. 単元の指導計画(全4時間)

	内容	関	思	技	知
第1時	自己受為替手形	○		○	○
第2時	荷付為替手形			○	○
第3時 (本時)	手形の書き換え 手形の不渡り		○		○
第4時	手形の裏書き・保証債務		○	○	○

10. 本時の展開

(1) 本時の学習内容

手形の書き換え、手形の不渡り

(2) 本時の目標

特殊な手形の取引について理解し、手形の書き換え、手形の不渡りについての取引を適切に処理できるようになる。

グループワークを通して、自分の意見を他人に伝え何が最善の答えなのかを思考できるようになる。

(3) 本時の評価基準

・適切な会計処理を行うことを目指して思考を深め、実社会のどの場面で使用されるのかについて思考できる。(思考・判断・表現)

・手形の書き換え、手形の不渡りについて基本的な仕組み、取引について理解している。(知識・理解)

(4) 本時の学習過程

時間	指導内容	学習内容・学習活動	指導上の留意点 評価基準・評価方法
導入 (3分)	・ 本時の学習目標の提示 および授業の流れの説明 1. 手形の書き換え 2. 不渡手形	・ 本時の学習目標を理解する。	・ 授業の最初にプリントを配布する。
展開① (15分)	○手形の書き換え ・ 書き換の意味について説明 ・ 例題を用いて解説	・ 書き換えが発生する状況について理解をする。 プリントの例題を記入し、仕訳の理解をする。	・ 教科書 P250 とパワーポイントを使用し、教科書と合わせて補足説明をする。 ・ 教科書 P251 の例題をプリントにも記載しているため、前で解説をしながら仕訳を記入する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 (問題集 7-2) 解説 	<p>問題集 P17 7-2 を解き、その後解説を聞く。</p>	
<p>展開② (20 分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○手形の不渡り ・不渡手形とは何か <p>・不渡りが起きると生じる問題についてのグループワーク</p> <p>発問 解説</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例題解説 (問題集 8-1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・意味を理解する。 <p>・実際にどのようなことが起きるのかを考える。プリントを使用し、どのようなことが起きるのかグループで考える。考えた意見をグループで発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕訳の解説を聞き、仕訳について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 P250 とパワーポイントを使用し、教科書と合わせて補足説明をする ・グループワークのため机間指導を行いながら、意見交換が行われているかを確認する。プリントに沿って、記入を促す。 ・問題集の問題に沿って、記入を促す。
<p>展開③ (10 分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習 (問題集 8-3、8-4) グループでの問題演習 解説 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで問題を解く分からない点はお互いで教えあって問題を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行う。グループでの問題演習となるため、教えあっている生徒の様子を観察する。そのうえで、補足やわからない点について説明をする。
<p>まとめ (2 分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りおよび、本時の学習目標が達成できたか確認 ・次回授業のアナウンス 手形の裏書・割引と保証債務 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習目標が達成できたか確認する。 	<p>問題演習の際に不安な生徒が多い際には次の授業で補足説明をすることを伝える。</p>

11. 使用教材

教科書、問題集、プリント